

工賃向上及び就労支援事業について 京都式農福連携事業の推進について

要旨

(一人当たり平均工賃(賃金)月額について)

- ・令和4年度の工賃実績調査結果について、京都府内の就労継続支援A型事業所の一人当たり平均工賃月額は91,972円となり、前年度比2.0%増加し、就労継続支援B型事業所では17,235円となり、前年度比2.9%増加した。
- ・就労継続支援B型事業所の一人当たり平均工賃月額の分布状況については、前年度と比較して、5,001円以上の区分の事業所数が増加傾向にある。工賃の増加については、新型コロナウイルス感染症に係る生産活動の自粛の緩和が要因と考えられる。

(令和6年度障害者就労支援事業について)

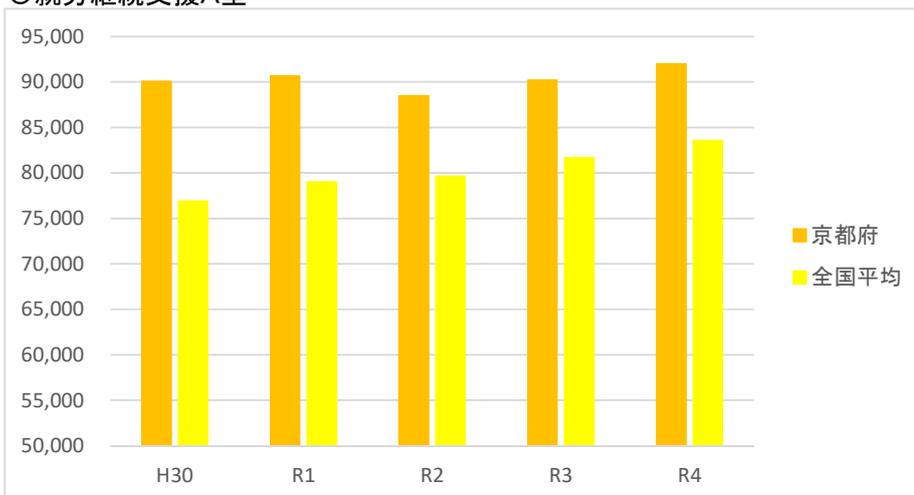
- ・令和6年度障害者就労支援事業については、府として600万円の予算を計上している。特に京のはあと製品推進事業においては、今後も少しでも高い工賃が実現できるよう製品改良や販路拡大等を支援してまいりたい。

(京都式農福連携事業について)

- ・京都府では、平成29年5月にきょうと農福連携センターを設置し、多種多世代の人々が地域の担い手となる地域共生社会づくりの一環として、農福連携の推進に取り組んでいる。
- ・令和6年度は2,800万円の予算を計上しており、農業の知識習得を目的とした実践講座であるチャレンジ・アグリ認証や、今年度からの取組である農業者と福祉事業所の施設外就労等のマッチングを行うコーディネーターの設置を通じて、新たに農福連携を行う事業所を増やすとともに、6次産業化の促進等の工賃向上につながる取組を支援してまいりたいと考えている。

◆一人当たり平均工賃(賃金)月額推移(過去5年間)

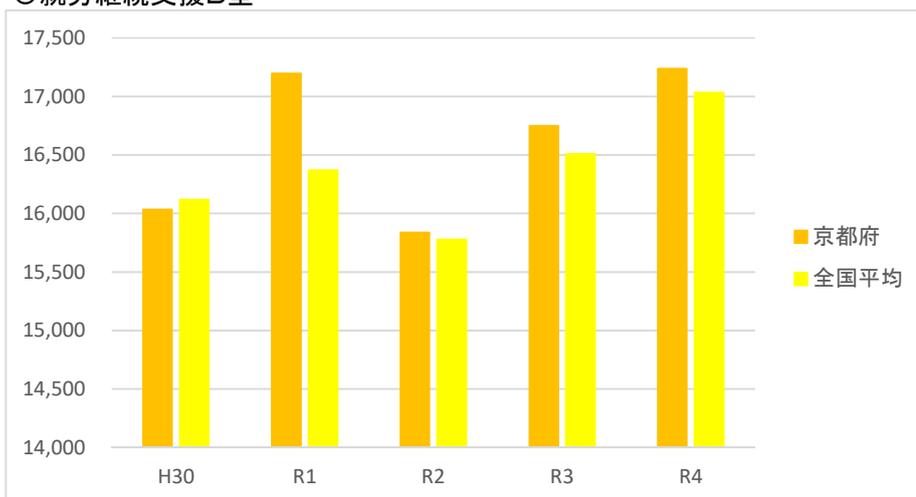
○就労継続支援A型



(単位:円/月)

	H30	R1	R2	R3	R4
京都府	90,025	90,636	88,470	90,160	91,972
全国平均	76,887	78,975	79,625	81,645	83,551

○就労継続支援B型



(単位:円/月)

	H30	R1	R2	R3	R4
京都府	16,034	17,195	15,838	16,749	17,235
全国平均	16,118	16,369	15,776	16,507	17,031

◆就労継続支援B型の平均工賃月額分布状況(過去3年間)

(事業所数)

工賃月額(円/人・月)	R2	R3	R4
~5,000円	26	22	23
5,001~10,000円	71	74	79
10,001~15,000円	67	67	71
15,001~20,000円	28	43	51
20,001~30,000円	43	44	59
30,000円~	26	36	41
計	261	286	324

※R2~R4工賃実績調査結果による

令和6年度障害者就労支援事業

(1) 京都式障害者選べる就労応援事業

障害者就労活動支援システム事業

障害者自らが働く場所や就労支援を選択できるシステム「障害者はたらき支援ネット」を運営する。

(2) 障害者IT就労支援事業

障害者の在宅就労の機会を創造するため、必要なIT研修や受注促進のための調整を行う。(委託先：(特非)京都ほっとはあとセンター)

- ・ 障害者ITサポートセンターの運営（受注促進・調整等）
- ・ IT活用に係る個別相談の実施
- ・ 障害種別（視覚、聴覚、身体障害）毎のパソコン初級者向け講習等
- ・ 企業等からの受注を想定した実践的な技術を身に着ける講習の実施

(3) 京のはあと製品推進事業

障害福祉事業所の製品改良や人材育成支援等を通じて工賃向上を図る。(委託先：(特非)京都ほっとはあとセンター)

- ・ 福祉就労製品魅力アップ事業実行委員会を設置し、福祉就労製品の販路拡大を図るためのアドバイザーの派遣等の支援を実施する。
- ・ 就労支援事業所に向けた経営改善や販売促進等に関する研修会の実施
- ・ 販売促進員による共同受注のコーディネート、出展販売の調整
- ・ 事業所の製品等の情報を登録したホームページの運営

京都府の農福連携に関する取組

きょうと農福連携センターの設置について

- ✓ 福祉部局と農林部局が横断的に農福連携を推進するため、平成29年度に設立

事務局体制

- ・センター長（健康福祉部長）
- ・副センター長（健康福祉部副部長・農林水産部副部長）
- ・センター員（健康福祉部障害者支援課、農林水産部農政課職員）
- ・センター付アドバイザー（農業・福祉・共生社会に関する有識者等）

地域サテライト

- ✓ 北部・中部の2カ所に拠点となるサテライトを設置し、地域の特色に応じた農福連携に取り組む



北サテライト併設の農産加工場
〔地元企業や農家からの依頼を受けて地域特産品づくりを推進〕



中サテライト実施のマルシェ
〔京都丹波農福マルシェやフォーラムの共同開催を行い、地域連携を推進〕

チャレンジアグリ認証制度

- ✓ 障害者や福祉事業所の支援員に対し農業講座を行い、技術取得・向上を図りその実績を認証する取組



実践課程（出前講座）
〔個別の事業所の希望する栽培品目を題材として、出張形式の講座を開催〕



地域連携課程
〔地域の複数の事業所が共同受注を目指して、同一品目を栽培できる技術を身につける〕

京都府の農福連携に関する取組

農福連携マッチング事業【R6新規】

- ✔ 福祉事業所から農業者の農場等に出向いて行う施設外就労等を促進するため、農福連携コーディネーターを配置し、新たな就労先の開拓を促進

<福祉事業所が担う農作業の例>



万願寺唐辛子の袋詰め
(亀岡市)



田んぼの草刈り
(京丹波町)

タキイ種苗株式会社との協力

- ✔ 平成29年度にタキイ種苗株式会社と京都府の間で農福連携事業に関する協定を締結
- ✔ 民間企業と都道府県の農福連携に関する連携協定は全国的にも珍しい取組

専門アドバイザー派遣

- ✔ 福祉事業所に対し専門家等による農業技術指導やアドバイスを実施

